

YOUTUBE 特典

フレンズを使った 英会話学習

半年であなたが変わる



大山俊輔（しゅみすけ社長）

9割の日本人のための英会話

YouTube を使ったインプット（リスニング）の仕方 - オーバーラッピング編

それでは、ここからは具体的に YouTube を使ったリスニングの方法をご紹介します。ここでは、教材となる動画はすでに選ばれている前提でお話します。

ステップ1 - 字幕無しで聞いてどの程度理解できるか把握する

まずは、動画の字幕がない状態でどの程度理解できるかをチェックしてみましょう。できれば、座って音声を聞ける落ち着いた環境でパソコンを使ってチェックしてください。

私達日本人は、英単語、英文法を理解していたとしても様々な理由で英語が聞き取れなかったりします。

理由の中でも大きな課題としては、①英語の発音やリンキングに慣れていない、②英語の語順に慣れていない、の2点です。

まったく字幕を表示しない状態で5~6割が理解できていれば、字幕ありですと7~8割位は理解できる可能性があります。教材としての理想は、リスニングの2大要素を満たすことです。

ステップ2- 字幕を読んでどの程度理解できるか把握する

次に、字幕ありでチェックしてみてどの程度理解できるかをチェックします。

前述のように**字幕ありで7~8割位理解できれば教材として適切**です。

文字数的に、10~15文字に1つくらい全く意味のわからない単語が登場するけど、だいたい言っていることが分かる、という状態であれば適度なストレッチをかけた学習教材として好ましいと言えるでしょう。

上記のように歯車マークから字幕を押すと字幕表示ができます。

注意

字幕には、「英語（自動生成）」と「英語」のみで（自動生成）がついていないものがあります。自動生成は、GoogleのAIが聞き取りをして文字起こしをしたもので精度としては85%~90%でほぼ正確です。また、（自動生成）のついていないものは、人力で入力されているので非常に正確な時があれば、意識してしまっていることもあります。ドラマやTEDなどでは製作者が丁寧に入力してくれていることもありますので、まずは「英語」でチェックし変だなと思ったら「自動生成」にしてみるとよいでしょう。

ステップ3- 内容がわからないときは日本語でチェックする

ステップ2で内容が難しいと思ったときは、基本、その教材はまだあなたには早いのかもかもしれません。

ただ、たまたまテーマとしてあなたにピッタリのものであるにも関わらず、知らない専門用語があるがため全体の把握を困難にしているだけということも考えられます。そのような場合は、少しチャレンジングかもしれませんがその教材を使いたいと思うこともあるでしょう。

その場合は、まず**全体のストーリーを理解するため日本語字幕で試してみても良いでしょう**。上記同様、歯車マークから字幕を「日本語」にすることで字幕が表示されます。

日本語字幕につきましては、多くはAIによるものが多いと思います。ただし、一部TEDなどでは翻訳者などの有志の方が日本語化してくれていることがあります。いずれにせよ、ストーリーの全体図が把握できればOKですので、AIによる少し粗い日本語訳でも十分だと思います。また、ここであわせてわからない単語は辞書で調べておくとも良いでしょう。

ステップ4- オーバーラッピングを行う

下準備が終わったらオーバーラッピングを行いきましょう。
やることは、とても簡単です。字幕を見ながら、英語の音声に合わせて一緒に英語を読むだけです。

オーバーラッピングのイメージとしては、カラオケの練習と似ています。
音楽が流れてきたら字幕を見ながら一緒に発声するというのは、基本的に、新しい歌を覚えることとやることは同じだからです。

また、カラオケと同じく**同じ素材でしつこくオーバーラッピングの練習をするようにしましょう**。
理想としては、**同じ教材で20回の練習×3日間、つまり、最低でも60回くらい行うのが理想だ**と言われています。

感覚的にはもう少し多くても良いと思いますが、逆に最低でも60回くらいの練習をしないといけないということです。
これは、リスニング、スピーキングのためでもありますが、同時に、**予測文法を自然と身につけるためにも必要**です。同じ教材で何十回も練習をすると、自然と同じ単語、文法などに出くわすことに気づく機会が増えていきます。

1回や2回では気づく程度なのですが、出くわす回数が増えてくるとそのうちに今度は**応用のパターンに気づく**ようになります。たとえば、下記はフレンズでオーバーラッピングをしていると起きそうな脳内での気づきです。

Gunther: **I was wondering if** you'd like to go to a movie with me sometime.
ガンター： いつか僕と一緒に映画に行かないかなって考えたんだけど。

※気づき：「おっ、I was wondering if」って表現があるんだ。メモメモ。

Ross: **I was wondering if** I could um, maybe buy you a cup of coffee?
ロス： 君にコーヒーをおごらせてもらえないかなって考えてたんだけど？

※気づき：「あっ、またI was wondering if」が出てきた。I was wondering if の後ろは主語＋動詞なんだな、って気づく。

Elizabeth: **I was wondering if** I could talk to you for a moment?
エリザベス： ちょっとお話できないかって考えてたんですけど？

※気づき：「あ、また来たよ、I was wondering」。もう知ってるよ。
次は、自分の独り言やネイティブとの会話でも使ってみよう。

I was wondering if you could check my English. とかもいいのかな？ 今度、独り言の時ネイティブにチェックしてもらおう。

こんな感じです。

大事なのは、短めの同じ教材でしつこくオーバーラッピングをやっていくうちに体に染み込んでいき、それがやがて自分自身が使うときには文法を意識することなくアウトプットでも使いこなせるようになっていくイメージです。**これが私達が母国語で普段行っている「予測文法」能力です。**

英語で母国語のようにすべての会話で予測文法を極めることは困難ですがある程度固まった場面、トピックであれば使えるようになります。
留学しなくても英語が話せるようになった人の多くはこの学習を意識しているかしていないかは別に行っているのです。

YouTube 動画「【初心者向け完全解説】海外ドラマ『フレンズ』で英語学習（これだけやってれば十分）」に登場するシーンのスクリプト（英語・日本語）

Jill : HI. IS RACHEL HERE? I'M HER SISTER.

レイチェルはいますか？彼女の妹です。

Rachel : OH, MY GOD! JILL!

なんてこと！ジル！

Jill : OH, MY GOD! RACHEL!

レイチェル！

Chandler : OH, MY GOD! INTRODUCE US.

なんてこったい！紹介してよ！

Rachel : WELL, THIS IS CHANDLER.

えっと、こっちにいるのがチャンドラー。

Rachel : AND YOU KNOW MONICA AND ROSS.

で、モニカとロスは知ってるわよね。

Rachel : AND THAT'S PHOEBE. AND THAT'S JOEY.

で、あっちにいるのはフィービー。で、あっちがジョーイ。

Joey : HEY, HOW YOU DOING?

へーい。元気か〜い！？

Rachel : DON'T!

ダメ！（妹に手を出しちゃダメ！）

Rachel : HONEY, WHAT ARE YOU DOING HERE?

どうしてここにいるのよ。

Phoebe : WHICH-WHICH SISTER IS THIS? IS THIS THE SPOILED ONE OR THE ONE THAT BIT HER?

（ロスに対して）どっちの妹？甘やかされたダメな方？それとも、彼女（レイチェル）に噛みついた方？

Jill : DADDY CUT ME OFF.

お父さんに勘当されたの。

Phoebe : NEVER MIND. I GOT IT.

(ロスに対して) 気にしないで。どっちかわかったわ。

Jill : AND YOU KNOW WHAT I SAID TO HIM? I SAID, "I'M GOING TO HIRE A LAWYER. AND I'M GOING TO SUE YOU. AND TAKE ALL YOUR MONEY AND THEN I'M GOING TO CUT YOU OFF!

(レイチェルに対して) お父さんになって行ってやったかわかる? 私行ってやったのよ。弁護士を雇って訴えてやるわ、って。そして、お父さんのお金を全部とって、私 (こそ) あんたを勘当してやるわ、って。

Rachel : WOW, WHAT DID HE SAY?

わー。で、お父さんはなんて言ったの?

Jill : HE SAID HE WOULDN'T PAY FOR MY LAWYER.

お父さんは私の弁護士代は払わないと言ってたわ。

AND THEN HE TOLD ME TO COME HERE AND LEARN ABOUT THE VALUE OF MONEY FROM THE ONE DAUGHTER HE'S ACTUALLY PROUD OF.

で、お父さんはこうも言ったの。ここに来て、自分が誇りに思ってる娘からお金の大事さを学べてね。

Rachel : DID YOU HEAR THAT?

(みんなに対して) 聞いた?

Rachel : MY DAD'S PROUD OF ME. MY DAD'S PROUD OF ME.

お父さんが私のことを誇りに思ってるんだって。

Monica : RACH...

レイチェル・・・(話を脱線しないように)

Rachel : OH, YEAH, SORRY.

あー。そうね。ごめんなさい。

Rachel : OKAY, HONEY, SO WHAT DID YOU DO THAT MADE DAD CUT YOU OFF?

オッケー。で、あなた、何をしたらお父さんに勘当されたのよ?

Jill : OKAY, I BOUGHT A BOAT.

オッケー。ボートを買ったの。

Monica : YOU BOUGHT A BOAT?

ボートを買った？

Jill : YEAH, BUT IT WASN'T FOR ME,
IT WAS FOR A FRIEND.

そうなの。でも、私のためじゃないわよ。
私の友達のためにね。